

当初予算!

本年度の当初予算案が3月定例議会の審議を経て決まりました。
一般会計の当初予算額は、87億6,825万7千円で、特別会計を合わせると総額152億736万5千円となります。

わが町の家計簿

の

87億6,825万7千円

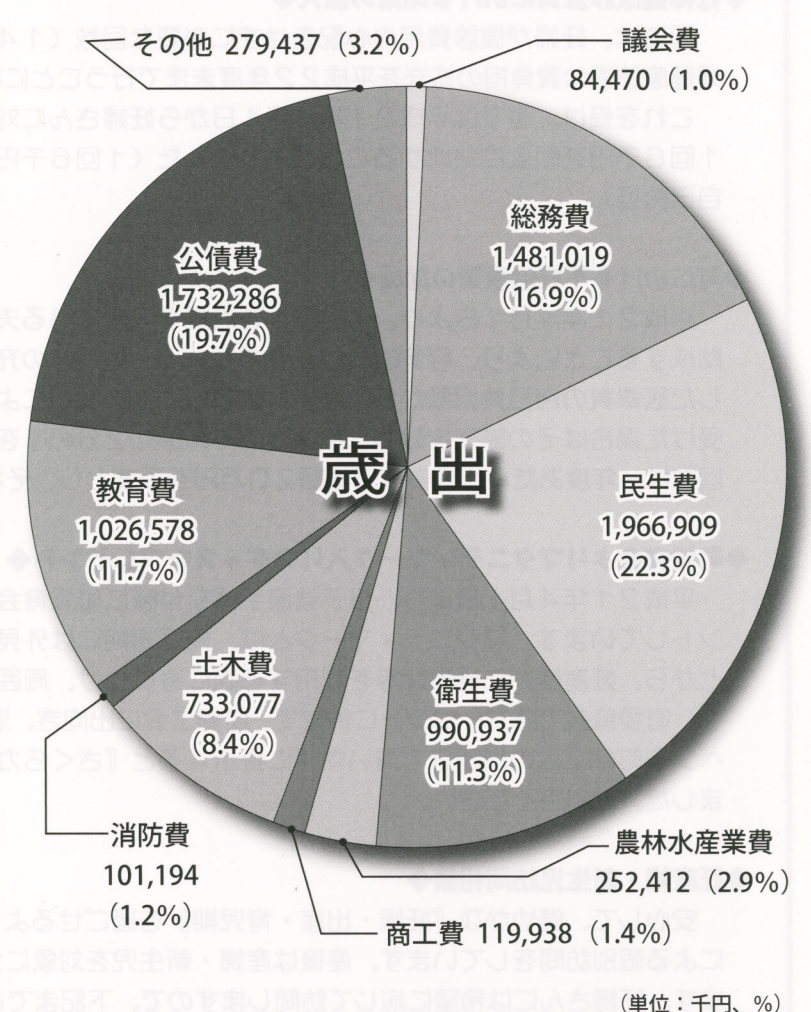
わが町

平成21年度一般会計

当初予算額は

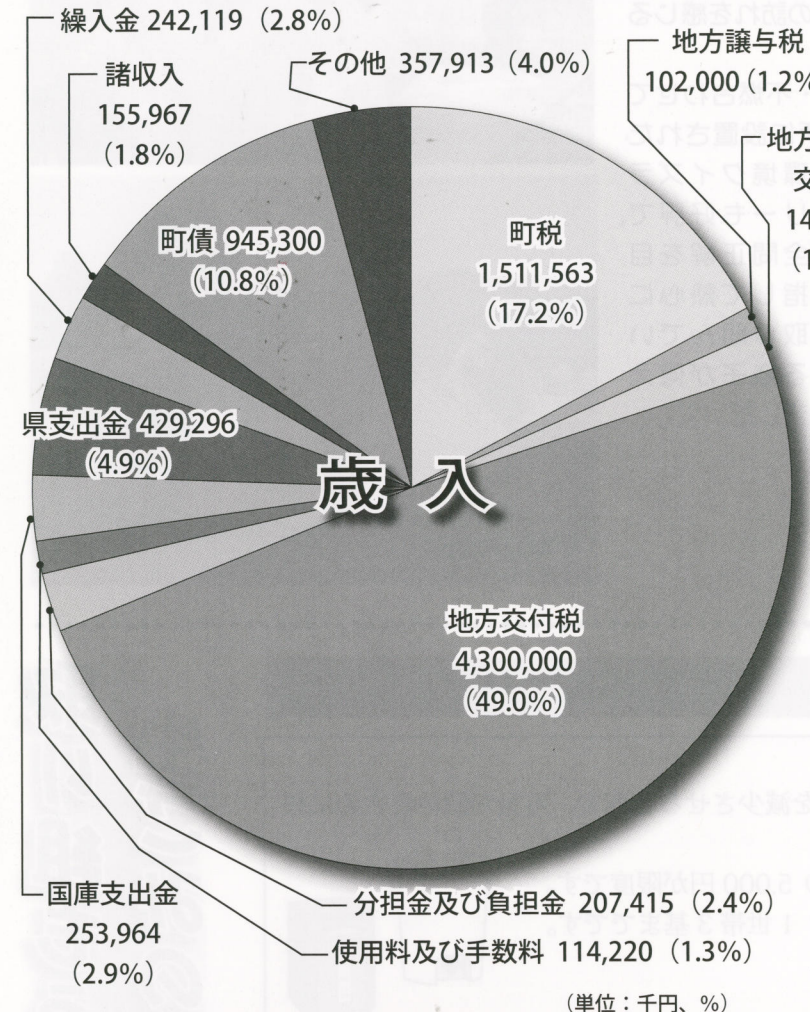
平成21年度身延町特別会計予算
【単位：千円（ ）内は前年度比の増減率％】

国民健康保険特別会計	2,100,116 (△ 9.1)
老人保健特別会計	5,484 (△ 98.5)
後期高齢者医療特別会計	468,398 (△ 1.0)
介護保険特別会計	1,817,511 (4.9)
介護サービス事業特別会計	6,017 (△ 3.6)
簡易水道事業特別会計	832,839 (△ 6.7)
農業集落排水事業等特別会計	59,669 (29.6)
下水道事業特別会計	1,094,101 (△ 31.4)
青少年自然の里特別会計	40,954 (△ 2.0)
下部奥の湯温泉事業特別会計	9,356 (38.5)
大八坂及び川尻並びに山之神外十五山恩賜林保護財産区特別会計	324 (△ 5.5)
広野村上外九山恩賜林保護財産区特別会計	761 (△ 2.1)
第一日影みそね沢恩賜林保護財産区特別会計	187 (4.5)
第二日影みそね沢及び石原外二山恩賜林保護財産区特別会計	232 (△ 4.1)
大久保外七山恩賜林保護財産区特別会計	500 (5.3)
仙王外五山恩賜林保護財産区特別会計	421 (2.7)
姥草里外七山恩賜林保護財産区特別会計	643 (0.8)
入ヶ岳外二山恩賜林保護財産区特別会計	548 (△ 7.0)
西嶋財産区特別会計	469 (20.3)
曙財産区特別会計	182 (△ 1.1)
大河内地区財産区特別会計	179 (△ 2.2)
下山地区財産区特別会計	217 (8.0)



主な歳出	金額	前年度比増減率
人件費	1,593,406	△ 2.9
物件費	1,406,850	7.3
補助費等	1,199,870	△ 7.1
扶助費	780,896	△ 1.8
繰出金	1,471,213	△ 7.3
普通建設費	309,101	△ 65.0
公債費	(1,610,686)	(△ 2.5)
合計	1,732,286	4.9

※ () 内は、利率見直しによる町債借換分を除いたもの
 ■平成21年度末地方債残高・・・10,665,931千円
 ■町民一人当たりの借金(H 21.3.1 現在人口 15,690人)・679千円
 ■平成21年度末基金残高・・・3,726,877千円



主な歳入	金額	前年度比増減率
町税	1,511,563	△ 0.9
地方交付税	4,300,000	2.4
国庫支出金	253,964	△ 15.7
県支出金	429,296	△ 21.0
繰入金	242,119	△ 64.0
町債	(823,700)	(△ 24.6)
合計	945,300	△ 13.5

※ () 内は、利率見直しによる町債借換分を除いたもの
 ■依存財源(国や県等に依存するお金) 62億6,645万1千円(71.5%) 前年度比△ 4.0%
 ■自主財源(町で確保できるお金) 25億0,180万6千円(28.5%) 前年度比△ 13.7%

人口減少と少子高齢化の影響で、地方財政を取り巻く環境は依然厳しい状況であり、地方分権の時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立し、徹底した行政改革を推進する中で、施策を厳選し、より充実したきめ細かな町民サービスが提供できる自治体を目指して予算編成を行っております。一般会計の対前年度比は7.0%減

の予算となっておりますが、その主な要因は柿島町営住宅建設事業並びに西嶋分館建設事業の完成によるものです。今年の予算では、例年同様に扶助費をはじめとする義務的経費や保健、福祉、教育など生活に欠かすことのできない経費について、十分配慮し、特に子育て支援関係予算について重点を置いて予算計上を行いました。

平成21年度 主な事業

- 「身延町ふるさと定期便」運営事業費(ふるさと町民制度) 3,860千円
- 不妊治療医療費助成金 1,000千円
- 子育て支援医療費助成金(対象年齢15歳まで) 30,200千円
- 妊婦一般健康診査委託(年間14回/人) 5,880千円
- デマンド交通事業運営負担金 34,572千円